

2026年度日系社会研修 コース概要

No	4
所管センター	四国
分野	日本文化
研修コース名	阿波踊り技術研修
受入人数	4
受入時期	上半期
来日日	2026年7月15日（水）
帰国日	2026年8月30日（日）
提案団体	四国大学
提案団体ウェブサイトアドレス	https://www.shikoku-u.ac.jp/
研修員必要資格	徳島で阿波踊りを専門的かつ短期集中的に学ぶ意志があることが最低限の必要資格。また、伝統芸能の継承に意欲的な人物であることも必須条件。入門的な内容ではなく、発展的な内容に取り組むため、阿波踊りあるいは伝統芸能に関する活動に3年以上従事した経験とともに、阿波踊りに関する基礎知識を有するものであることも必要資格。
研修員に必要な実務経験年数	実務経験3年以上
研修使用言語	日本語、英語、ポルトガル語、スペイン語
日本語能力 （JLPT目安）	不問
英語能力	英語でのコミュニケーション可
研修目標	徳島で専門家の直接指導による研修を行うことで阿波踊りの基本と合わせて鳴り物の演奏方法についても基本的な知識と技術を獲得し、現地日系社会に戻ってからの継続的発展につなげていくこと。自己研鑽と合わせて普及活動も行うこと。
期待される成果 （習得する技術）	1. 研修員が徳島の阿波踊りの多様性と共通する基本的な技術を理解する。 2. 基本的技術を理論と共に習得し、独自の工夫が可能となる。 3. 自ら模範を示しながら理論的にも教えられるようになる。 4. 徳島とのつながりを確立し、以降も連携して効果的な普及活動を行うことができる。
研修計画（内容）	1. 講義：阿波踊りの歴史と文化、踊りと鳴り物の理論と技術などについて学ぶ 2. 実習：県内の有名連および四国大学連の練習に参加して自己研鑽に励む 3. 見学：有名連などの阿波踊りの演出（集団としての動き）についても学ぶ 4. セミナー：阿波踊りの普及活動等に関する研修 5. 発表：研修最終日に学内で実施
本研修実施の意義 現地日系社会への裨益効果	これまでの練習や実績を踏まえて、研修の成果を活かすことでさらに大きく進展するきっかけになると思われる。現地日系社会では日本各地の伝統芸能を実践しているグループが相当数あるので、伝統芸能の本場に学びつつ独自の工夫を加えて発展しているという現地日系社会への模範的事例を示すことができる。
応募希望者への特記事項	自分の研修目標等をもって自主的に活動するようお願いいたします。担当者ができるだけサポートします。複数の有名連の練習に参加させていただく予定ですので積極性と協調性が求められます。宿舎はホテル滞在を想定しています（学内のゲストハウスや学生寮の利用も検討します）。